科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／異文化コミュニケーション論 (Intercultural Communication)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ファッション・スタディーズと自己変容の異装/衣装		
担当者名 (Instructor)	菅野　遼(KANNO RYO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	BUS2400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

本講義は、多層化された社会的領域や様々な文化的境界線を横断し、グローバルに活躍する人材にとって必要不可欠な教養のひとつとしてのファッション・スタディーズという学問分野を取り上げ、「自己の他者化」(従来の自己を変貌させ、新たな自己アイデンティティを獲得する文化実践)を可能にするような衣装や外見、スタイルや美的感覚に関する基本的概念や哲学的思考を理解した上で、現代社会の諸問題を批判的に問い直すことを目標としている。

In this course, students learn a lot of fundamental concepts and philosophical perspectives in fashion studies, as one of the critical academic disciplines, that are indispensable for cultivating global talents who can traverse multi-layered social fields and different cultural boundaries. In so doing, students can understand how one experiences"transformation of the self" (cultural acquisition of a new self-identity or social construction of an alternative self) through changing cloths, appearances, styles, and aesthetics and critically call various topics and problematics in our contemporary society into question.

授業の内容(Course Contents)

本講義では、自己変容の本質を哲学的に探求する文化研究のジャンルのひとつであるファッション・スタディーズの基礎知識を養うために、毎週異なるテクストを精読する。また、リーディング、クラス・ディスカッション、小テストなどを通じて基礎的知識や分析能力を強化するとともに、批判的思考の形成や問題検知能力の醸成のために中間・期末レポートの作成を課す。

In this course, students actively engage in close reading of weekly texts to become familiar with basic knowledge of fashion studies -- a genre of cultural studies that philosophically explores the nature of self-transformation. Also, students can develop their basic knowledge and analytical skills through weekly readings, class discussions and comprehension exams, while nurturing their critical thinking and heuristic ability through crafting mid-term and final essays.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション ＆ 序章 (アニェス・ロカモラ ＆ アネケ・スメリク/ファッションを通して考える)
2. 第1章:アンソニー・サリヴァン (カール・マルクス/ファッションと資本主義)
3. 第2章:ジャニス・ミラー (ジークムント・フロイト/フェティシズムでは終わらない -- ファッションと精神分析)
4. 第3章:ピーター・マックニール (ゲオルグ・ジンメル/哲学的モネ)
5. 第4章:アダム・ゲッツィ ＆ ヴィッキ・カラミナス (ヴァルター・ベンヤミン/ファッション、モダニティ、街路)
6. 第5章:フランチェスカ・グラナータ (ミハイル・バフチン/グロテスクな身体の形成)
7. 中間まとめ ＆ 小テスト1
8. 第6章:ルウェリン・ネグリン (モーリス・メルロ＝ポンティ/ファッションの身体的経験)
9. 第7章:ポール・ジョブリング (ロラン・バルト/記号学とファッションの修辞的コード)
10. 第8章:エフラト・ツェーロン (アーヴィング・ゴフマン/文化観察の技法としての社会科学)
11. 第9章:アネケ・スメリク (ジル・ドゥルーズ/ファッションの襞に包まれた器官なき身体)
12. 第10章:ジェイン・ティナン (ミシェル・フーコー/身体政治の形成)
13. 第11章:オレリー・ファン・ドゥ・ペール (ニコラス・ルーマン/流行と時代遅れのあいだのファッション)
14. 期末まとめ ＆ 小テスト2

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外の学習に関する指示や授業で使用する参考教材・PowerPoint ファイルの共有は、履修登録完了後に「Blackboard」上で履修者に対して行う。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業参加度(質疑応答、議論、グループワーク、リアクション・ペーパーなど)(20%)/小テスト(30%)/中間レポート(25%)/期末レポート(25%)

テキスト(Textbooks)

1. アニェス・ロカモラ ＆ アネケ・スメリク、2020、『ファッションと哲学』、フィルムアート社 (ISBN:9784845917167)

参考文献（Readings）

1. 高木陽子 & 高馬京子、2021、『越境するファッション・スタディーズ -- これからファッションを研究したい人のために』、ナカニシヤ出版 (ISBN:9784779516030)
2. 日本記号学会、2019、『転生するモード -- デジタルメディア時代のファッション』、新曜社 (ISBN:9784788516373)
3. 海野弘、2012、『二十世紀美術 1900-2010』、新曜社 (ISBN:9784788512979)

その他（HP 等）（Others(e.g.HP)）

本講義は PowerPoint を使用した講義形式を採用し、映像資料や現物資料なども適宜活用する。課題や授業に関わる情報は講義内や「Blackboard」上で告知し、参考資料の配布なども「Blackboard」を通じて行う予定である。また、小テストなどの課題については、次回授業などで適宜フィードバックを行う。

注意事項（Notice）